

岡崎朋美さんに町民栄誉賞



4度目の町民栄誉賞に輝く

4月17日、レストハウスきよさとを会場に行われた町民栄誉賞表彰式において、冬季オリンピック・バンクーバー大会日本人女子として初となる5大会連続出場を果たした岡崎朋美さんに、ご自身4度目となる清里町民栄誉賞が贈られました。岡崎さんは、開会式で旗手として選手団を率いるとともに、自己の限界に挑戦する姿は、日本中に勇気と感動を与えてくれました。表彰式と帰町報告会には、今後の活躍や激励に200人を超える町民と多くの報道関係者が詰めかけました。

また、この日は先に現役選手として引退を表明した糸川敏彦さんに町から感謝状が贈呈され、糸川さんからは引退の報告とお礼の言葉が述べられました。

1年1年しっかりと・・・ その先にソチ五輪が

今 年2月にカナダ・バンクーバーで開催された第21回冬季オリンピック大会。自身5度目の出場と日本選手団の旗手を務めた清里町出身の岡崎朋美選手が4月17日に故郷清里町に凱旋しました。

会場には、富士急行スケート部総監督の長田照正さんをはじめ、夫の安武宏倫さん、釧路星園高校時代の恩師橋本裕治さんのほか、岡崎選手を激励しようと多くの町民の方が出席しました。





岡崎選手の母校光岳小学校スケート部の児童から花束が贈られました



橋場町長から糸川敏彦さんに、これまでの功績を称え感謝状が贈られました



会場に集まった町民ひとりひとりと会話をかわす岡崎選手



会場の子どもたちと笑顔で記念撮影



岡崎選手から糸川敏彦さんに花束が贈られ、ともに第1線で活躍してきた友人をねぎらいました



「岡崎選手はほぼベストの状態で行く姿に驚かされました。ですが、道具の面で落とし穴があった」と富士急行スケート部総監督の長田照正さんは話されました

清里町民の皆様へ

バンクバーオリンピックに際しまして
皆様への温かいご声援の甲斐もなく
不本意な結果となり誠に恐縮です。
トリノオリンピックからの千年間は、町民の
皆様への後押しのおかげで頑張ることができた
心より感謝致します。

ありがとうございました♡

表彰式では、橋場町長から「清里の名を全国に広めてくれました」と町民栄誉賞が授与されました。岡崎選手は「過去最悪の順位とタイムで町民のみなさんにどう謝っていいのか」と結果を振り返りましたが、「たくさんの方々の支えがあって、本当に幸せなスケート人生を送っているなど、今は感謝の気持ちでいっぱいです」と気持ちを語ってくれました。

また、「これからは、1年1年しっかりと過ごし、ソチ五輪が見えたら目指したい」と新たな目標も語ってくれました。

岡崎選手は、各テーブルを周り、激励にかけた町民の皆さんや友人らと交流し、サインや記念撮影に笑顔で応えていました。

そして、今シーズン限りでの現役引退を表明した糸川敏彦さんからは「30年間と長きにわたり競技を続けてこれたのは、皆さんのおかげです。今までご声援ありがとうございました」と町民みなさんへの感謝の気持ちを述べられました。

岡崎選手からは花束が贈られ、ともに第一線で活躍してきた友人をねぎらい、会場は大きな拍手で包まれました。